

# R246シリーズ 6ファンドの合計純資産総額が 3,000億円を突破

りそなラップ型ファンド(安定型)/(安定成長型)/(成長型)  
【愛称:R246(安定型)/(安定成長型)/(成長型)】

ラップ型ファンド・プラスESG(安定型)/(安定成長型)/(成長型)  
【愛称:R246 ESG(安定型)/(安定成長型)/(成長型)】

追加型投信/内外/資産複合

当社が設定・運用するR246シリーズ(「りそなラップ型ファンド【愛称:R246】」および「ラップ型ファンド・プラスESG【愛称:R246 ESG】」)は、多くのお客さまにご愛顧いただき、6ファンドの合計純資産総額が3,000億円を突破しました。これまでのご愛顧に心より感謝申し上げます。

お客さまの人生設計に寄り添いたいとの想いから2016年に誕生しました「R246シリーズ」は、当社が長年にわたり年金運用で実践してきた「長期国際分散投資」の考え方を基本とし、それぞれ3つの目標リターンのファンドをご用意しております。おかげさまで、設定から約10年※で34社の金融機関でお取り扱いいただき、合計純資産総額は3,004億円となりました(2026年4月9日現在)。

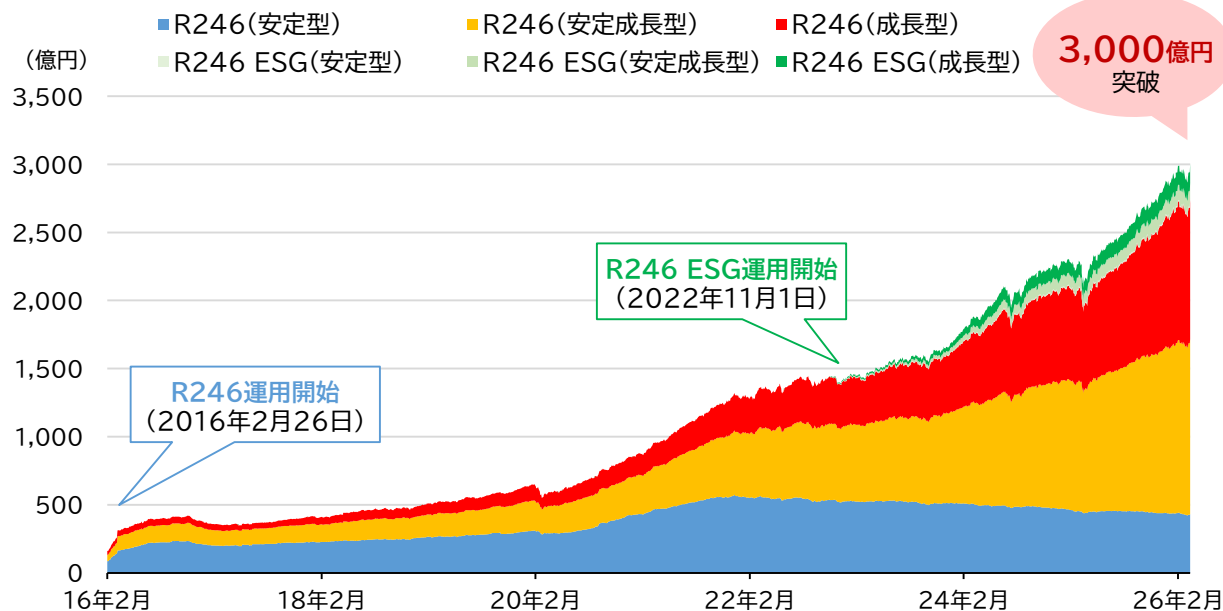
※設定約10年を迎えたのは、りそなラップ型ファンド(安定型)/(安定成長型)/(成長型)です。

今後も安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を目指して運用を行ってまいりますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## <純資産総額の推移>

(期間:2016年2月26日(R246設定日)~2026年4月9日、日次)

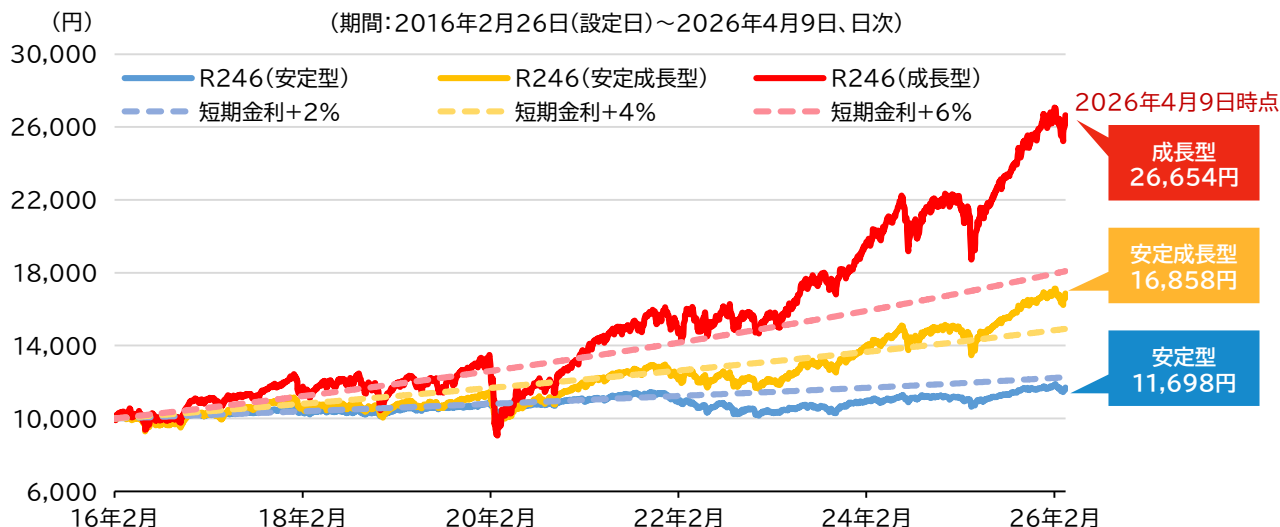
2026年4月9日時点



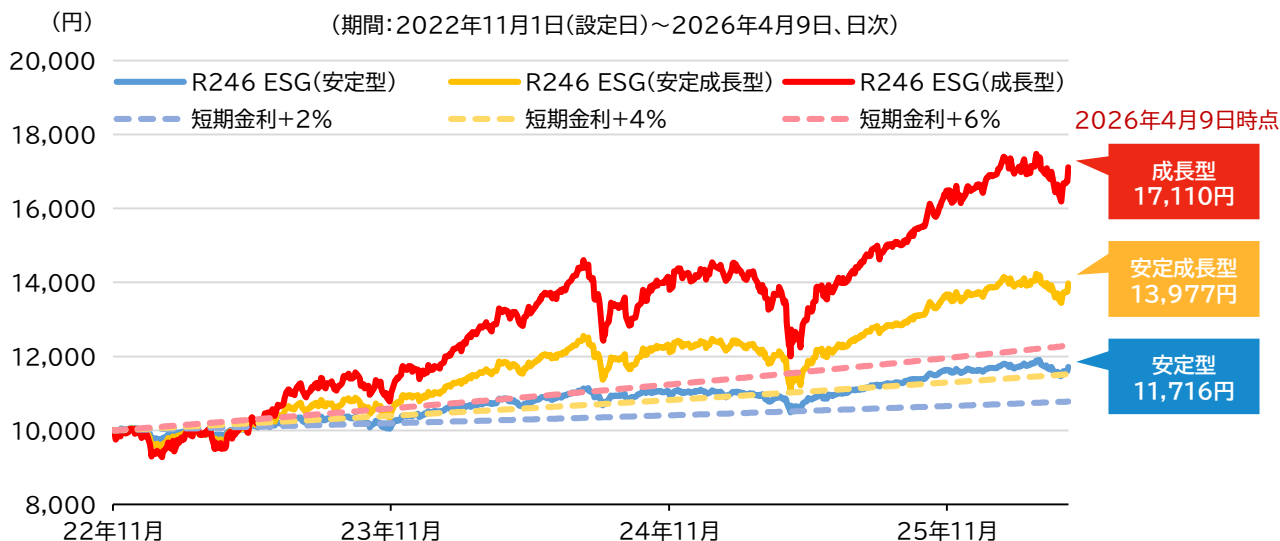
※ 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

R246は2016年、R246 ESGは2022年の設定・運用開始以来、着実な運用を続けております。

### <R246 基準価額の推移>



### <R246 ESG 基準価額の推移>



### <目標リターンと設定来年率リターン>

	目標リターン(年率)	R246 設定来リターン(年率)	R246 ESG 設定来リターン(年率)
成長型	短期金利+6%	10.2%	16.9%
安定成長型	短期金利+4%	5.3%	10.2%
安定型	短期金利+2%	1.6%	4.7%

- ※ 各グラフにおける基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。
- ※ 各グラフにおける短期金利+2%は安定型、短期金利+4%は安定成長型、短期金利+6%は成長型の目標リターンであり、<R246 基準価額の推移>においては2016年2月26日時点(10,000円)を指数化した場合の推移を、<R246 ESG 基準価額の推移>においては2022年11月1日時点(10,000円)を指数化した場合の推移を示しています。
- ※ 「目標リターン」とは、必ず一定の収益を得ることのできる運用を意味するものではなく、記載されている目標リターンの数値は、その達成を示唆・保証するものではありません。したがって、投資者の元本が保証されるものではなく、各ファンドの基準価額は下落することがあります。
- ※ 目標リターンは、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。その他発生する費用につきましては考慮していません。
- ※ 目標リターンに記載している短期金利は無担保コールO/N物レート(確報)のことを指します。
- ※ 目標リターンは、5年から10年程度の中長期的な期間、運用することを想定して設定しています。
- ※ 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

## ファンドの目的・特色

こちらよりご覧ください

R246



R246 ESG



## 投資リスク

当ファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

◆市場リスク(株価変動リスク、金利(債券価格)変動リスク、リートの価格変動リスク、為替変動リスク)◆資産配分リスク◆信用リスク◆流動性リスク◆カントリーリスク

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>2.2%(税抜2.0%)を上限</b> として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にご確認ください。 ※ 各ファンド間でスイッチングできる場合があります。詳しくは販売会社にご確認ください。
信託財産留保額	ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各ファンドの純資産総額に対して、以下の表に掲げる率を乗じて得た額とし、各ファンドの計算期間を通じて毎日、費用として計上されます。		
	各ファンド	安定型 年率 <b>0.66%</b> (税抜 <b>0.60%</b> )	安定成長型 年率 <b>1.10%</b> (税抜 <b>1.00%</b> )

その他の費用・手数料  
監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等(これらの消費税等相当額を含みます。)は、その都度(監査費用は日々)ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※ 上場投資信託証券、上場不動産投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、これら費用を表示することができません。  
※ 上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。  
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

## お取り扱い金融機関 拡大中！

販売会社は  
こちらよりご確認  
いただけます

R246



R246 ESG



### <当資料についての留意事項>

当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）および「目論見書補完書面」等を一体として販売会社よりお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
- 投資信託は預金や保険契約ではなく、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入された場合は、投資者保護基金の対象にはなりません。
- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

#### ファンドの愛称について

愛称の「R246」、「R246 ESG」は、投資者のみなさまにファンドのイメージをつかんでいただきやすいよう、各ファンドの目標リターン算出に用いられる数値から名づけたものです。各ファンドの目標リターンの達成を強調することや保証・示唆するものではありません。

商号等：りそなアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2858号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会